

あゆみ速報

原研労組中執ニュース

原子力平和利用三原則
—公開・民主・自主—を守ろう

日本原子力研究開発機構労働組合

〒319-1106 茨城県那珂郡東海村白方 2-4
Tel. 029 (282) 5413, 5414 Fax. 029 (284) 0568

役員選挙の立候補届出期間が延長されました！

公 示

2020年 6月18日

日本原子力研究開発機構労働組合中央選挙管理委員会

高崎支部選挙管理委員会

大洗支部選挙管理委員会

組合役員選挙の立候補届出期間、不在者投票の日時及び投票日時の変更について

2020年6月11日付けで公示した組合役員選挙について、第72期中央執行委員、第72期監査委員、第72期中央委員、第111期高崎支部執行委員、第109期大洗支部執行委員の立候補届出の期間を、下記のとおり変更するので公示する。

記

1. 立候補届出の期間：

(旧) 6月11日(木)～6月18日(木)までの毎日9時～18時迄とする。

(新) 6月11日(木)～6月19日(金)までの毎日9時～18時迄、および6月22日(月)の9時～12時迄とする。

以上

拡大窓口交渉「6月期一時金について」

6月5日（金）に原子力機構に提出した「2020年6月期一時金について」の要求書への原子力機構の回答（あゆみ速報71-34）の詳細について、6月11日（木）、6月18日（木）に原子力機構と拡大窓口交渉を行いましたので皆様にご報告いたします。引き続き、原子力機構と交渉を行っていく予定ですので、ご支援をよろしくお願いいたします。

以下、原研労組：[労組]、原子力機構：[機構]で表す。

○6月期末手当（ボーナス）の支給算式について（6月11日）

[機構]： 本日は6月期末手当（ボーナス）について一般職、6級、7級の基準内給与の支給算式を提示する。

一般職については、昨年度と比べて支給月数はアップしたが（2019年6月：2.225月、2020年6月＝2.250月）、本給の平均値が下がったため、昨年と比べると全体の総支給金額は下がっている。

これは年齢構成の変化によるものであり、5級は昇任などで減り、2級は増えて若返りしている。そのため本給の平均値が下がっている。個々人については、本給が増加していれば、その分は期末手当も増えている。

6級、7級については、わずかではあるが本給の平均値が上がっており、期末手当もその分だけ増加している。

[労組]： 本日の支給算式には人事評価の結果が反映されているのか？

[機構]： されていない。

[労組]： それでは、本式は原資を計算するための支給算式で、人事評価が反映されれば、定額項や6級7級の支給率が変化すると認識でよいか？

[機構]： その認識で問題ない。

[労組]： 人事評価について各級のSABCDの人数、割合について教えて欲しい。偏った評価や、むやみに低い評価がされていないことを確認させていただきたい。また、現在、人事評価は終わっているのか？新型コロナウイルスの影響で遅れていることはないか？

[機構]： 人事評価が決まれば、人数等は例年通りお伝えする。人事評価は終わっていない、終わるのが来週の始め頃の予定なので、支給算式に人事評価を反映したものについては6/17以降にお伝えできると思う。

[労組]： 人事評価を反映するときに、各級の人数も一緒に教えて欲しい。

[機構]： 例年通り、お伝えする。

[労組]： 今回の提示では、支給月数以外の変更は何かあるのか？

[機構]： 月数以外には特にはない。

[労組]： 再雇用職員、臨時用員、アルバイトについての支給月数・日数などに変更はあるのか？

[機構]： 例年通りの支給とする方針である。

[労組]： 期末手当の原資は使い切っているのか？冬の一時金のために残したりしているのか教えて欲しい。

[機構]： 原資は使い切る形で配分している。

〇6月期末手当（ボーナス）の支給算式（人事評価反映後）について （6月18日）

[機構]： それでは人事評価の結果を反映した6月期期末手当（ボーナス）の詳細についてお知らせする。まず、支給月数は2.250月で2019年6月の2.225月よりもプラス0.025月である。

資料の「基準内給与」は一般職（1～5級）、6級、7級の基準内給与の数値であるが、6/11にお知らせしたのから変更はない。

次の「支給算式」については、人事評価の結果を反映したことにより、6/11から若干の変更がある。

[機構]： 6/11 と比較すると、一般職（1～5 級）は平均の本給が少し増加している。これは主には人事評価の結果を反映すると平均が B 以上となり、平均が上がるためである。また、扶養手当人数の数値が 6/11 と比べて小数点以下で異なっている。それらの影響により定額項も併せて変わっている。

6 級 7 級については 6/11 と比べて微増ではあるが、大きな変更はない。

[機構]： 2019 年 6 月と比較すると、一般職（1～5 級）では本給の平均が 3,624 円低くなっており、期末手当の平均も 1,976 円低くなっている。これは一般職の中で 5 級の人数が減り、2 級が増えて全体的に若返ったためである。

支給月数は 2.250 月で 2019 年 6 月の 2.225 月よりもプラス 0.025 月となっており、個別に見れば支給額は増えているのでご理解いただきたい。

また、扶養手当人数は 0.81 人となり、2019 年 6 月の 0.89 人より減っている。これは昨今の共働きの増加と少子化によるものと思われる。

6 級 7 級については支給月数以外には大きな変更はない。

[機構]： 6/11 の際に労組から聞かれた各級の人数と、2019 年度からの差をお知らせする。

1 級：122 人（+6）、2 級：273 人（+24）、
3 級：186 人（+14）、4 級：289 人（+5）、
5 級：731 人（-13）、6 級：549 人（-30）
7 級：687 人（+16）

[機構]： また、各評価の人数をお知らせする。

1～5 級 S：1.93%、A：13.22%、B：84.45%、
C：0.40%、D：0.0%
6 級 S：4.05%、A：22.75%、B：72.81%、
C：0.39%、D：0.0%
7 級 S：3.24%、A：20.36%、B：67.93%、
C：8.47%、D：0.0%

[労組]： この人事評価結果は前回と比べてどのようなものか？

[機構]： そう大きな違いはない。評価ごとの割合も似たようなものとなっている。

[労組]： D評価はいないのか。

[機構]： いない。

[労組]： C評価の人の理由は何か？病気などか？それとも業務実績か？また、今後に向けてフォローなどは行っているのか？

[機構]： 病気よりは業務実績などで評価している。6級以下は既にフィードバック面談を行っており、次年度以降に改善できるよう、これから所属長を通して教育や指導をしてもらう。

[労組]： 人事評価結果の期末手当への反映率は？

[機構]： 以下の割合で増減する。
1～5級 S：1.10、A：1.05、B：1.00、
C：0.95、D：0.90
6～9級 S：1.20、A：1.10、B：1.00、
C：0.90、D：0.80

[労組]： エリア勤務制度を適用している人については、何か変更はあったのか。人数はどの程度いるのか？

[機構]： 例年と同じで10%減となり、全体を計算して0.9掛けをする。特に変更はない。人数は後ほどお知らせする。

以上

大会に代わる組合員の意見集約

現在、新型コロナウイルスの感染防止のため、大会等の開催を控えている状況です。そのため、大会に代わってメールベースでの意見集約（大会議案及び春闘要求）を行い、組合員の皆様の声を集めています。締め切りは、6月24日(水)18時で、原研労組（genkenrouso@muse.ocn.ne.jp）及び中央執行委員宛てに返信をお願いします。

副主幹級（6級）以上の昇任・昇格等について

あゆみ速報 71-35 でお知らせした「副主幹級（6級）以上の昇任・昇格等について」について、その後、6月18日（木）に原子力機構と拡大窓口交渉を行いましたので皆様にご報告いたします。

以下、原研労組：[労組]、原子力機構：[機構]で表す。

[労組]： 副主幹級（6級）以上の昇任・昇格等について追加でお聞きしたいことがある。

これは「級」が上がるのが延期となると認識しているが、「号」についてはどのような対応となるのか？級の他に号でも不利益となるようなことはあるのか？

[機構]： 号については、7月が定期昇給の時期となっている人は、その分が上がる。しかし、普通は10月が定期昇給の時期である。7月が定期昇給時期は入所時期が異なる人で対象は少ないと思われる。また、令和元年度の人事評価結果でSの人はプラス1号となるが、そういったものも7月に反映される。

[労組]： 7月に号が上がる予定の人は上がり、10月に昇級となった人については、元々、行くべき給与表のところに行くという認識で良いか？

[機構]： そうである。

[機構]： 団体交渉については6/23（火）の午前中をお願いしたい。時間は調整中であるが1時間は取れないかもしれず45分程度となるかもしれない。本部にて対面式で行うつもりである。参加者が決まれば教えて欲しい。また議題などが分かると助かる。

以上